



進路だより第1号を発行しました！これからみなさんの夢の実現に向けて、進路情報を発信していきます。大切な資料になりますので、配られたら保護者の方にも必ず目を通してもらい、ファイルなどに大切に保管しておきましょう。

自らの将来、自らの生き方を考えよう

いよいよ義務教育の最終学年がスタートしました。新型コロナウイルスの影響により休校が続き、不安な日々を過ごしている人も多いのではないのでしょうか。この休校の影響で、皆さんの進路決定に不利になることがないように必要な配慮がされることが決まっています。先が見えない日々が続きますが、今できることを確実にやっていきましょう。

ところで皆さんは、2年生の時の総合的な学習で自分の進路について学習したことを覚えていますか。上級学校調べの途中で休校になってしまいましたが、中学校卒業後にどんな選択肢があるのか学習しましたね。学校が再開したら学習の続きを行います。自分でも興味をもって可能な範囲で情報を集めてみましょう。そして、「**将来の夢、就きたい職業**」は、はっきりしているのでしょうか。自分をよく見つめ、「**自らの将来、自らの生き方**」をしっかりと考えてください。そして、その夢に近づくための進路選択を、慎重に検討してほしいと思います。

進路選択の基本的な考え方

進路選択の基本は、次の三点です。

①「**将来の生き方**」を選択する。

将来の生き方は一つではありません。人それぞれに異なった興味・関心をもっていると同時に、能力・適性も違います。自分の個性と可能性を十分発揮できる進路を探り、将来の「**夢・希望**」に少しでも近づくことができるような進路選択をしましょう。

②「**進学したい学校**」を選択する。

上級学校には、高等学校、高等専門学校、専修学校などさまざまな種類があります。高等学校を考えても、普通科や職業などの専門学科（コース）などがあり、それぞれに異なる教育を行っています。そこで、上級学校を選択するにあたって、自分の個性、可能性を十分発揮でき、将来の「**夢・希望**」の実現に近づくための学校を「**目的をもって**」選択する必要がでてきます。それぞれの学校の情報を十分に収集し、自分が「**進学したい学校**」を選択しましょう。

③「**自分の意志**」で選択する。

自分の進路は自分自身で決定するものです。自分で悩み、自分で努力してつかんだ夢だからこそ、納得でき、満足感も得られるのです。夢へのアプローチの仕方はいくつもありますが、その中から、自分なりの選択基準をもって、「**自分の意志と責任**」で選択しましょう。

学校を知ることが進路学習の第一歩

第一中学校は、群馬県、栃木県、埼玉県と隣接する進路の選択肢がたいへん多い学校です。一中から過去に進学実績がある主な学校を下に挙げてみました。知っている学校がありますか？

館林高校 館林女子高校 館林商工高校 西邑楽高校 大泉高校 板倉高校 群馬高専
 太田高校 太田女子高校 太田東高校 太田フック高校 太田工業高校 太田市立太田高校
 桐生高校 桐生女子高校→2021年度から合併 桐生立商業高校 桐生工業高校 栃木高校 栃木女子高校
 足利高校 足利女子高校→2022年度から合併 足利南高校 足利工業高校 小山高専 佐野高校
 佐野松桜高校 不動岡高校 羽生高校 羽生第一高校 羽生実業高校 関東学園大附属高校
 常磐高校 桐生第一高校 樹徳高校 前橋育英高校 健大高崎高校 白鷗大学足利高校
 佐野清澄高校 足利大学附属高校 足利短大附属高校 佐野日本大学高校 青藍泰斗高校
 國學院栃木高校 花咲徳栄高校 開智未来高校 昌平高校 など